

# 都市計画たより

令和7年度版



※路面電車が高架で2階へ乗り入れる「全国初の建物」となった広島駅新駅ビルの上層階から乗り入れルートを眺めるWG参加者

(一社)建設コンサルタンツ協会  
中部支部 都市計画委員会

目次

はじめに	1
令和7年度 都市計画検討グループの活動内容	1
令和7年度 都市計画検討グループ総会及び講演会 報告	2
令和7年度 第35回 建設コンサルタンツ協会業務技術発表会 報告	9
令和7年度 建コン中部支部【都市計画委員会】ワーキング活動のご案内	10
『中部インフラ整備構想』の実現に向けた取り組み	11
令和7年度 都市計画検討グループ WG活動報告	12
・都市整備WG	12
・交通WG	15
・ランドスケープWG	18
■参考1：これまでの都市計画検討グループにおける活動内容（会員参加型）	21
■参考2：都市計画検討グループ会員・会社数及び各企画参加人数・会社数	22
おわりに	22
あ・と・が・き（委員からの一言）	23
告知（令和8年度のグループ会員募集）	26

【都市計画委員会及び3ワーキング（WG）の位置づけ】



## はじめに

平素から、都市計画検討グループ活動に対して、ご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

今年度の活動は、「総会」と併せて、講演会『グリーンインフラ整備の本格化に向けて』と、『テクノロジー×円頓寺商店街』と題した名古屋工業大学の秀島栄三教授の監修によるグループワークを実施しました。テクノロジーを深掘りし、まちづくりに活かすという、日常の業務では思いつかないアプローチと新たな発想を生み出す体験をしました。

そして、10月、11月に3つのワーキング活動を実施し、多くの会員の皆様に、ご参加いただきました。

会員の皆様のご協力・ご参加により、令和7年度の活動も無事終了しましたこと、心より感謝しております。また、都市計画委員の皆様におかれましては、業務多忙の中、各ワーキング企画を実現いただき、本当にありがとうございました。

今年度の講習会や見学会などの活動した内容を「都市計画たより」としてとりまとめましたので、ご高覧いただくとともに、来年度の活動の参考としていただき、ご意見等いただければ幸いです。

来年度も、皆様からの要望を踏まえて、「仕事の役に立つ魅力的な企画」を検討していきます。奮ってのご参加をお待ちしておりますので、引き続き、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

都市計画委員長 河村 和紀

## 令和7年度 都市計画検討グループの活動内容

令和7年度は、下記の通り「会員参加型企画」及び「委員会活動」を実施しました。

### 1. 会員参加型企画

- 総会・講演会（7月4日）…………… 56名（17社）
- ランドスケープWG講習・見学会（10月31日）…… 27名（14社）
- 交通WG講習・見学会（11月12日）…………… 23名（13社）
- 都市整備WG講習・見学会（11月21日）…………… 29名（13社）

### 2. 委員会活動

- 産官三機関合同インターンシップ（8月）
- 業務技術発表会運営（10月）
- 建設コンサルタントフェア2025 in 中部（11月）
- 建設技術フェア2025 in 中部 学生交流ひろば対応（12月）
- 発注者意見交換会（11月～12月）
- 都市計画委員会（全8回、4月～12月）

# 令和7年度 都市計画検討グループ総会及び講演会 報告

## I. 開催日程等

日 付：令和7年7月4日（金）14:30～17:40

場 所：名古屋工業大学 4号館2階 第3会議室（集合形式）

参加者：56名 17社

## II. 総会の概要

- |                            |           |
|----------------------------|-----------|
| 1. 開会                      | 【藤本副委員長】  |
| 2. 都市計画委員長挨拶               | 【河村委員長】   |
| 3. 令和7年度都市計画委員の紹介          | 【各委員】     |
| 4. 令和6年度活動報告と令和6年度活動計画（案）  | 【河村委員長】   |
| 5. 令和7年度WG活動方針（案）          | 【河村委員長】   |
| 6. 令和6年度決算報告と令和7年度予算（案）の説明 | 【河村委員長】   |
| 7. 講習会及びグループワーク            | 【秀島栄三 教授】 |
| 8. 閉会                      | 【河村委員長】   |

### ●令和7年度の活動計画

**テーマ**：都市計画を取り巻く動き、新しい情報の提供

**活動方法**：WG活動を主体にニーズに対応した見学会、講習会等の開催と交流の深化

**合同WG**：複数のWGや他の技術検討グループとの合同開催

都市計画検討グループの目的は「技術研鑽」と「技術者相互の交流」です。技術の研鑽を目標にして各グループ部員が集まり、お互いの交流の輪が広がる場づくり、学識経験者、官公庁、他の団体とも積極的に交流の場づくりができるように進めました。

令和7年度も、より多くの技術交流が図られるように、直接交流形式による活動を主体とし、現場の空気感と交流による熱量が感じられる活動計画とします。

### ●令和7年度の各ワーキング別会員数

各WGとも、会員数は前年度の人数を維持または上回り、合計281名となりました。多数ご登録いただき、ありがとうございました！各ワーキング活動へのご参加、よろしく申し上げます！

ワーキング別会員数

ワーキング	令和6年度	令和7年度	増減数
都市整備WG	128名	128名	0名増
交通WG	73名	87名	14名増
ランドスケープWG	56名	66名	10名増
合計	257名	281名	24名増

### Ⅲ. 講演会

#### 1. 目的

講習会は、都市整備、交通、ランドスケープの各WGに共通するテーマを取り上げ、参加者全員が一体感をもって学び、交流することを目的として、「講演会」と「グループワーク」を実施しました。講演会は、『グリーンインフラ整備の本格化に向けて』と題して、名古屋工業大学の秀島栄三教授にご登壇いただきました。そして、会員相互の技術交流を図る目的で、意見交換の場となる「グループワーク」を秀島先生監修のもと行いました。

#### 2. 概要

講演会：『グリーンインフラ整備の本格化に向けて』

グループワーク：『テクノロジー×円頓寺商店街』

講師：教授 秀島 栄三氏

- ・名古屋工業大学大学院 工学研究科 教授
- ・博士（工学）



#### 3. プログラム

- (1) 講演会 (15:00～15:30)
- (2) グループワーク (15:40～17:00)
- (3) 発表・講評 (17:00～17:40)

#### 4. 講演会の様子



▲ 秀島先生による熱のこもったご講演

#### 5. グループワークの様子

グループワークは、全8班、各5～7人/班の構成で、円頓寺商店街の将来像について自由な発想で議論し、最後に、議論のプロセスと将来像のキャッチコピーなどを班毎に発表しました。



▲ 活気あふれるグループワーク（どんどん話が膨らみます！）

## 6. 発表の様子

①ドローン	A 班（都市整備 WG）	F 班（ランドスケープ WG）
円頓寺商店街の捉え方	まちの知名度が低いため、店舗情報はあるが客誘導が不十分。	周辺に観光拠点（IG アリーナ、名古屋城）があるが、回遊性が少ない。
テクノロジーの捉え方	集客、店舗誘導、物資運搬など「利便性向上ツール」と捉える。	「見せる」「見る」「運ぶ」「行く」という4つの機能を活用する。
まちづくり方針	ドローンを活用した集客や街の利便性向上を目指す。堀川でのドローンレースや空撮マップ作成も一案。	ドローンを観光案内、防犯、荷物運搬、外国人観光客への通訳などに活用し、周辺地域
キャッチコピー	『円ドローン寺商店街』	『ドローンは街のコンシェルジュ』



▲ 「ドローン」を担当した2つの班による発表（左：A 班、右：F 班）

②QR コード	B 班（都市整備 WG）	G 班（ランドスケープ WG）
円頓寺商店街の捉え方	魅力的だが、「気軽に行きにくい」「地元向け」等のイメージが課題。	「目的がないと行かない」「何があるか分からない」という印象。
テクノロジーの捉え方	「誰でも簡単に使える」「世界共通」「発行が容易」等の特長を活かす。	未知の体験や新たな目的を生み出す「探求促進ツール」として活用。
まちづくり方針	街並みや施設自体を QR コード化し、歴史や防災情報などを発信することで街の魅力を向上させる。	QR コードを辿り「自分だけの“通”」を発見する体験型の街づくりを提案。
キャッチコピー	『街を QR に』	『自分の” ツウ”を見つける』



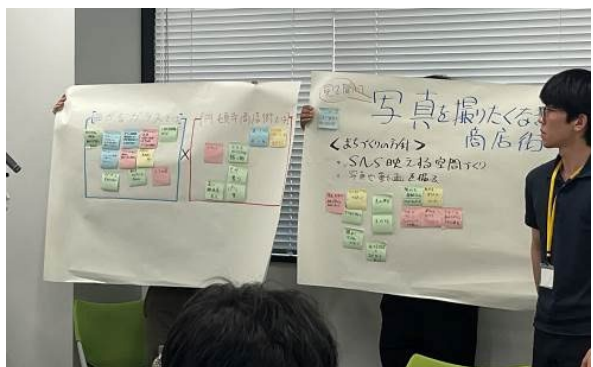
▲ 「QR コード」を担当した2つの班による発表（左：B 班、右：G 班）

③軽い素材	C班（都市整備 WG）	D班（交通 WG）
円頓寺商店街の捉え方	パリ祭りなど多様性を受け入れる土壌があるが、緑地が少ない。	衰退気味の印象。店舗 2 階が住居でファサードに統一感がない。
テクノロジーの捉え方	「軽量性」「吸収性」などを活かし、立体緑地やアートに適用したい。	「浮く」「携帯性」等を活かし、視覚的インパクトと実用性に着目。
まちづくり方針	アーケード空間を「飛ぶ緑地」として活用し、既存街並みを維持しつつ機能性や魅力を向上。	七夕祭りの装飾や空中スクリーンでの映画上映を通じて賑わいを創出。日よけや雨よけとしても活用。
キャッチコピー	『個性を飛ばせ！円頓寺』	『F で〇〇円頓寺』



▲ 「軽い素材」を担当した2つの班による発表（左：C班、右：D班）

④曲がるガラス	E班（交通 WG）	H班（ランドスケープ WG）
円頓寺商店街の捉え方	目的がないと訪れない。また、昼夜の人通りの違いに課題がある。	レトロで個性的な店が魅力的で、リニューアルも進み若い客層も多い。
テクノロジーの捉え方	「割れない」「耐年数が長い」「デザイン性の自由度の高さ」に着目。	「透明性」「曲がりやすさ」「薄さ」を活かした「ワクワク感」の創出。
まちづくり方針	屋根やスピーカーに曲がるガラスを使用し、視覚的・聴覚的魅力を高め、SNS 映えを意識する。	堀川を透けて見る透明チューブや滑り台、太陽光パネルなどを設置。収益性と空間の仕切り機能を両立。
キャッチコピー	『見て聞いて写真を撮りたくなる商店街』	『キラキラ円頓寺』



▲ 「曲がるガラス」を担当した2つの班による発表（左：E班、右：H班）

## 7. 秀島先生による講評

各班からの発表を受け、秀島先生から講評をいただきました。

### ●テクノロジー・最新技術の捉え方

表面的な効果ではなく、技術の本質（要素技術）を理解することが重要である。例えばドローンであれば、「写真や動画を撮影できる」で終わるのではなく、「ジャイロセンサーを搭載している」→「機体が安定する」→「撮影ができる」というところまで掘り下げることが大切。

この掘り下げをするためには、なぜ？どうして？という問いを繰り返し続けることが必要となる。

### ●技術×地域による新たな価値の創出

技術を単に「はめる」ものとして捉えるだけでなく、他の地域にはない「新しい価値」を生み出すような組み合わせを見つけることが理想的である。比較的馴染みのある技術（ドローンなど）は、知りすぎているため本質が見えなくなりがちであり、一方で馴染みの薄い技術（空気より軽い素材など）は本質を早く理解できるという場合がある。

このような思考法を通じて、建設コンサルタントである皆様がよりクリエイティビティを発揮し、新しい価値を創造いただくことを祈念します。

### 【最後に（河村委員長）】

業務の一層の効率化が求められ、課題が千差万別のまちづくりにおいても思考のルーチン化が進んでいることを危惧しています。本日のグループワークは、普段の業務では思いつかない「まちづくりのアプローチの仕方」を経験させていただきました。皆さんがそれぞれ感じた「気づき」を業務に活かし、よりよいまちづくりにつなげていただければ幸いです。

本日は長時間にわたり、ありがとうございました。秋には業務技術発表会、そして各ワーキング活動を実施しますので、多数ご参加、よろしくお願いします。

秀島先生、本日はお忙しい中、ありがとうございました！



▲ 集合写真

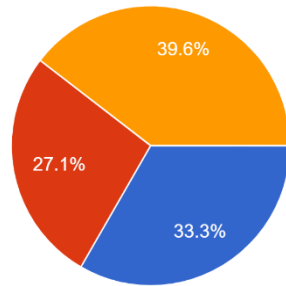
## ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ 総会アンケート結果 ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■

### (1) 回答数

・48件（回答率85.7%、参加者56名）

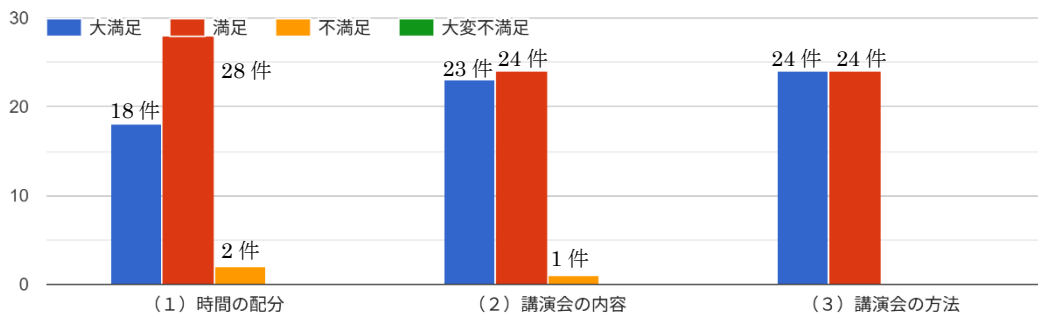


### (2) 所属ワーキング別回答数



19件 ● 都市整備ワーキング  
16件 ● 交通ワーキング  
13件 ● ランドスケープワーキング

### (3) 満足度



#### 【理由】

##### ●時間の配分について

- ・グループワークの時間はちょうどよく、集中して取り組める時間だった
- ・円頓寺の深堀が、時間が短くて難しかった

##### ●講演会の内容について

- ・普段の業務では使わない思考法やテーマに取り組み、新たな気づきや学びが多かった
- ・グリーンインフラの定量的分析やDXに役立つ考え方も知れて良かった
- ・秀嶋先生の講義やグループワーク後の講評が理解しやすく、考え方のヒントになった
- ・グリーンインフラとグループワークの関連が薄いように感じた

##### ●講演会の方法について

- ・他社の方と交流し、多様な価値観や自由な発想を共有できたことが刺激になり、議論も活発で楽しかった
- ・講演会の方法は今までと違いよかった



## 令和7年度 第35回 建設コンサルタンツ協会業務技術発表会 報告

10月28日(火)に「ウインクあいち」にて業務技術発表会を開催しました。今年度は、従来どおりの集合形式での発表会でした。

業務技術部門【河川・都市計画部門】では10編の発表があり、5編発表した都市計画分野から、最優秀賞1編、優秀賞1編の受賞がありました。

### ◆ 最優秀賞

大規模開発下においてもホテルの生息環境を維持する  
エコシステムの創造

株式会社オオバ

小林 高浩氏



### ◆ 優秀賞

都市公園の適正配置による公園面積確保と維持管理  
負担軽減の両立～うるま市公園再編計画～

日本工営都市空間株式会社

石川 空氏



※ 最優秀・優秀賞の発表論文の URL (凶夢 in 中部 56号)

<https://www.ccainet.org/activity/magazine/>

### ◆ 発表論文

- 大規模開発下においてもホテルの生息環境を維持するエコシステムの創造  
…………… 小林 高浩(株式会社オオバ)
- 公共施設の組織横断的な再編を図った適正配置計画の立案  
…………… 桐山 日菜子(株式会社テイコク)
- 対話を重視したデマンド交通の導入支援と多面的な効果検証  
…………… 千葉 好史(中央コンサルタンツ株式会社)
- 地形条件や合意形成への課題を有する地区への新たな事業化検討手法  
…………… 小堺 雅己(日本工営都市空間株式会社)
- 都市公園の適正配置による公園面積確保と維持管理負担軽減の両立  
～うるま市公園再編計画～  
…………… 石川 空(日本工営都市空間株式会社)

※ 発表論文・掲載論文の URL

[https://www.ccainet.org/information/35th\\_technical\\_presentation/](https://www.ccainet.org/information/35th_technical_presentation/)

令和8年度は、10月22日(木)に「ウインクあいち」にて開催いたします。

4月から募集が始まりますので、奮ってのご参加お待ちしております！

## 新しい価値を生み出す、まちづくりのカタチ ～3つの視点で、未来の都市を考える～

建設コンサルタント協会中部支部 都市計画委員会では、「都市整備 WG」、「交通 WG」、「ランドスケープ WG」の3つのワーキング活動を通じて、これからの都市のあり方を学び、未来の都市を考える企画をしました。各WGの企画は独立していますが、それぞれが「新しい価値」を生み出すための重要な視点を持っています。

すべての企画に参加して、多角的な視点から未来の都市を考えてみませんか？

### ■第一弾 ランドスケープワーキング 令和7年10月31日（金）開催 in 岐阜市

『岐阜市のセンターゾーンを支える歴史公園と防災公園を学ぶ』

リニューアルされた金公園と、Park-PFI による飲食・物販施設「楽市楽座」がオープンした岐阜公園。この2つの公園の距離は離れていますが、自動運転バス（令和5年度交通WGにて視察）やシェアサイクルなどの活用によりアクセスできる距離感にあります。都心部のオープンスペースが持つ新たな可能性について、官民連携や防災拠点としての役割など、多様な視点から考察します。



### ■第二弾 交通ワーキング 令和7年11月12日（水）開催 in 名古屋市

『自転車を活用したまちづくりを学ぶ』

環境に優しく健康的な移動手段としても注目される自転車。行動範囲を広げ、自動車や公共交通のニッチな部分を補うことで、まちの魅力創出に貢献する可能性を秘めています。令和6年度に改定された「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」も踏まえ、自転車を活用したまちづくりの可能性を考えます。



### ■第三弾 都市整備ワーキング 令和7年11月21日（金）開催 in 広島市

『広島市都心部におけるまちづくりを学ぶ』

広島市中心部では、都心全体のリノベーションを目指した官民連携の取り組みが進められています。エリアマネジメントを通じて「カミハチブランド」を確立し、トランジットパークや建物低層部のデザイン誘導、さらには全国初の駅2階乗り入れを実現した広島電鉄の事例（令和6年度は宇都宮LRTを視察）などを通して、都市再生のヒントを学びます。



## 『中部インフラ整備構想』の実現に向けた取り組み

建コン中部支部は、自律的な建設コンサルタント活動の展開を目指し、2023年より岐阜県、静岡県、愛知県、三重県の4県を対象に、中部地域の未来を見据えたインフラ整備構想を策定し、「中部圏インフラ整備構想」として取りまとめました。(詳細は、こちらを参照ください。☞ <https://www.ccainet.org/information>)

本構想は、中部圏が持つ高い経済成長の潜在力を活かし、「真の豊かさ」を実感できる社会の実現に貢献することを目指しており、建設コンサルタントの視点から、ハードとソフトの両面を組み合わせた具体的な提案を盛り込んでいます。

2050年の中部圏におけるインフラ整備は、安全・安心な持続可能性と効率性を重視することが求められており、「建設コンサルタントが貢献できること」として、以下の6つの取り組みを通じて、社会に多面的に貢献するものとしています。

### ■建設コンサルタントにできること

- ① インフラの統合的管理：交通やエネルギーなど、複数のインフラをデジタル技術で一元管理することで、効率的な運用とコスト削減を図る
- ② 住民参加型の計画策定：地域住民の意見を取り入れた計画を立てることで、地域のニーズに合った、支持されるプロジェクトを実現する
- ③ 自然災害や環境への適応：地震や洪水に耐えるインフラを設計し、災害に強いまちづくりを推進する
- ④ モビリティの革新：自動運転車や電動車に対応した交通インフラを整備し、未来の持続可能な交通システムを構築する
- ⑤ 資金調達が多様化：PPP（官民連携）やクラウドファンディングなどを活用し、インフラ整備のための資金調達の選択肢を広げる
- ⑥ 教育と研修：技術者や学生向けの教育プログラムを通じ、インフラ整備を担う次世代の人材を育成する

私たちは、「建設コンサルタントが貢献できること」を業務を通して提案していくため、専門性と技術力を一層高めるとともに、問題解決能力、コミュニケーション能力、プロジェクトマネジメント能力など、多岐にわたる能力が求められます。

3つのワーキング活動は、その一助になるものと考えて企画しました。個々の分野に特化した取り組みを基調としながらも、様々な観点から都市の課題を捉えることが必要とされていることから、他分野の取り組みも加味しています。さらに、名古屋市（人口約233万人）、広島市（同約118万人）、岐阜市（同約39万人）といった、異なる都市規模を対象としつつ共通の課題も念頭におくことで、多様な気づきと中部での取り組みの汎用性を高めるものと考えています。

是非、各企画にご参加いただき、ご自身のスキルアップにつなげていただければ幸いです。多数のご参加、お待ちしております！

都市計画委員長 河村

## 都市整備WG

### I. 開催日程等

日時：令和7年11月21日（金）10:30～16:30

場所：講習会①：広島 YMCA 国際文化センター本館

講習会②：エディオンピースウィング広島会議室

見学会①：ひろしまスタジアムパーク、ひろしまゲートパーク

見学会②：広島駅南口、広島駅周辺の公開空間

テーマ：広島市都心部におけるまちづくりを学ぶ

講師：広島市都市整備局 課長 水口 直也 氏、主査 小平 耕平 氏

エリアプラットフォーム・カミハチキテル 若狭 利康 氏

（一社）カミハチキテル 日高 洋 氏

広島市中央公園エリアマネジメント協議会 田儀 慶樹 氏

参加者：29名（13社）

### II. 活動概要

多くの都市では都心を核としたまちづくりが進められていますが、都市独自の課題を発見・解決していくためには、官民連携による取組が求められます。そこで、都心の活性化を行政・エリアマネジメント団体等と連携・協働して積極的に進めている広島市において、都心の将来像の実現に向けた具体的な取組を学ぶため、講習会・見学会を開催しました。

最初に、広島市都市整備局の課長・水口直也氏を講師に、「広島市の都心活性化の推進について」として講習会①を行いました。広島市は、平成29年に県と連携しひろしま都心活性化プランを策定し、広島駅周辺地区と紙屋町・八丁堀地区の2地区を核とした楕円形の都心づくりを進めています。講習会では、地域指定や土地利用の規制緩和による再開発事業の進捗、中央公園・広島駅南口の再整備の取組、官民連携組織の広島都心会議の取組等について説明がありました。

次に、エリアマネジメント団体であるカミハチキテルの若狭利康氏、日高洋氏を講師に「エリアプラットフォーム・カミハチキテルの取組」をお話いただきました。相生通り沿線をフィールドとして、公共空間及び民地（公開空地等）を活用した社会実験の取組、人中心の都市空間として相生通りトランジットパーク構想の提言等について説明があり、行政・団体の両視点から活発な議論が行われました。また講習会翌日には、社会実験の取組を実際に見学することもできました。



▲講習会の様子



▲講習会翌日の社会実験の様子

#### 質疑応答の内容（一部抜粋）

Q カミハチキテルの取組が成功している要因は何か？

A 具体的な要因はわからないが、広島市の都心の将来に対する危機感を持ち、参加者それぞれが思いを持ってワーキングや社会実験等の活動をしていることと考える。また建設コンサルタント会社が団体立ち上げ時から協力してくれていることはとても助かっている。

Q 都心部は水害等のリスクがあるエリアだが、防災の視点での官民連携の取組はあるか？

A 立地特性上、新幹線等が運休すると広島駅周辺で相当数の帰宅困難者が発生することが懸念される。そのため、JR西日本やホテル等の事業者と連携し、訓練を実施予定である。

午後からは講習会②として、エディオンピースウィング広島にて、広島市中央公園エリアマネジメント協議会の田儀慶樹氏を講師に、団体の概要、具体的な取組、将来展望等について説明がありました。エリアマネジメント協議会は、中央公園の再整備・管理運営事業の公募条件を受けて組織されているが、中央公園のエリア価値向上、広島市の都心活性化へ貢献するため、各種イベントの開催やモビリティの導入実証実験等を積極的に取り組んでいることや将来的には都市再生推進法人としての法人化を目指しているといった興味深い話が伺えました。

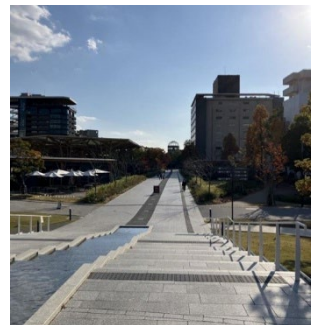
講習会②の後に、見学会①として中央公園内のひろしまスタジアムパーク、ひろしまゲートパーク等を現地案内人の方と徒歩で移動しながら説明を受けました。ひろしまスタジアムパークでは、都心のオープン空間としての芝生ひろばの活動の様子や、Park-PFIによって整備された商業施設や遊具、屋外トイレ等について確認することができました。次に国道を横断するペDESTリアンデッキを渡り、ひろしまゲートパークを見学しました。ひろしまゲートパークは、旧広島市民球場跡地に整備されており、随所にその名残がありました。また、シンボリックな大屋根広場の見学や原爆ドームへの平和の軸線を意識したピースプロムナードといった景観上の工夫点を学ぶことができました。その他にも、イベント活動等の使われ方の部分について案内を受けました。



▲ひろしまスタジアムパーク（芝生ひろば）



▲ひろしまゲートパーク（大屋根広場）



▲ピースプロムナード

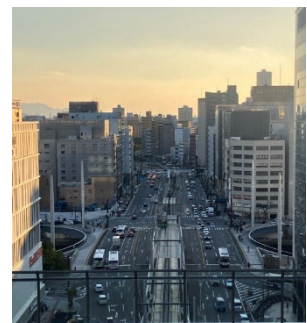
最後に路面電車で広島駅に戻り、広島市都市整備局の主査・小平耕平氏を講師に「広島駅南口広場の再整備等」として見学会②を行いました。広島市・JR西日本・広島電鉄が協働して再整備を行った広島駅南口広場や官民連携組織の TOUCH MATCH HIROSHIMA 実行委員会が取り組んでいる広島駅北口のペDESTリアンデッキ等での社会実験の取組、広島駅新駅ビル（minamoa）等を見学しました。広島市の都心活性化を共通の目的として官民で多様な連携・協働の取組を進めていることを実感することができました。



▲広島駅南口広場（路面電車の乗入）



▲広島駅北口での社会実験（ベンチ・植栽）



▲広島駅新駅ビルから  
見る駅前大通

参加者へのアンケートでは、「エリアマネジメントに関する実務者の活動、経緯を知ることができ、かつ現地視察により整備状況などを体験することができた。」「都市整備、交通、ランドスケープといった幅広い分野を包括した先進性がある場所で有意義な講習会・見学会となった。」などのご意見を頂きました。興味・関心のあるテーマも挙げていただいたので、次年度の活動に活かしていきたいと思えます。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

### Ⅲ. 参加者アンケート結果

#### 1. アンケート概要

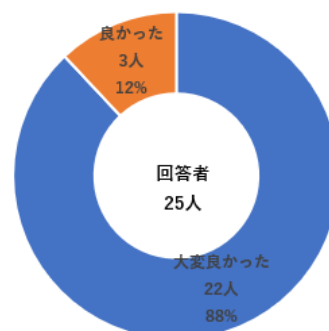
- (1) 対象者 : 視察参加者 29 人
- (2) 回収票数 : 25 人 (回収率 86%)

#### 2. アンケート結果 (抜粋)

##### 【問】講習会・見学会の内容に対する満足度

- すべての参加者に満足感を得ていただけた。また、8割以上が「大変良かった」と回答された。
- 満足感を得られた理由としては主に以下が挙げられている。
  - テーマ・内容が良かった
  - 講義＋現地見学の組み合わせが良かった
  - 対象エリアが複数あって良かった
- 上記のとおり全員に満足いただけているが「もう少し時間にゆとりを持ったスケジュールにしてくださいかった。」といった改善に向けた意見が1件あった。

選択項目		回答者数	構成比
大変良かった	満足	22	88%
良かった		3	12%
悪かった	不満	0	0%
非常に悪かった		0	0%
計		25	100%



##### 【問】今後「都市整備 WG」でどのようなことを学びたいか

- 官民連携やエリアマネジメントの事例から、その手法を学びたい
- 自動運転やライドシェアなどのモビリティに関すること
- 立地適正化計画・ウォークラブルなまちづくりの過疎化地域での取り組み
- 空き店舗や空き家など、遊休資産の活用自邸
- 今回のような普段から馴染みのない場所での講習会は様々な発見があり新鮮
- 国土強靱化の先進的な取り組み事例
- 都市整備、ランドスケープ、交通など、複合的・多面的なテーマ

## 交通WG

### I. 開催日程等

日 時：令和7年11月12日（水）13:30～17:00

場 所：金山南ビル14階 名古屋都市センター 第1会議室

テ ー マ：自転車で広がる まちの魅力発見

講 師：株式会社建設技術研究所（都市計画委員） 大脇鉄也 氏  
特定非営利活動法人 市民・自転車フォーラム 木村雄二 氏  
愛知住まい・まちづくりコンサルタント協議会 三田祐子 氏

参 加 者：23名（13社）

### II. 活動概要

自転車は「自転車活用推進法」に基づき、健康的で環境にやさしい移動手段として注目されており、地域の魅力を再発見し、観光やまちづくりを支える身近な存在となっています。近年は、自転車マップづくりやまち散策イベントなど、市民活動と結びついた取り組みが各地で広がっています。そこで、令和6年6月の「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」改定の要点や自転車活用推進の事例を学び、意見交換を通じてまちづくりへの自転車活用の可能性を考える講習会を開催しました。

大脇委員からは、ガイドライン改定の主なポイントとして、「思考停止の原因の一つである整備形態選定フローは廃止」や「路上駐停車は排除から両立へ」などの解説がありました。また、交通手段別の都市内における総旅行時間の比較実験結果が紹介され、名古屋市のように魅力あるスポットが点在し徒歩では回りきれない地域では、自転車を活用することでより広範なエリアを効率的にカバーでき、まちづくりの可能性が広がるのではないかとメッセージがありました。

木村氏からは、地域資源を発見する自転車散歩や、自治体や市民とつくる自転車マップ、コンセプトに沿ったイベントの企画・運営など、自転車の魅力を発信し活用を推進・啓発する様々な活動が紹介されました。その中で、苦労話や実現に至らなかった事例、さらに参加者が自発的にルールやマナーを作り出す事例なども共有されました。これらの活動を通じて、取り組みの実現には座学よりも実行力が重要であることが感じられました。

三田氏からは、国の方針が「作る」から「活かす・育てる」へと転換しており、車では見逃してしまう地域の魅力も、自転車の「遅さ」によって発見できることが強調されました。金山エリアでは、交通結節点でありながら人がまちにしみ出していない課題に対し、シェアサイクルを活用した社会実験や若者の参加を促すア



▲市民に自転車の魅力を伝える活動（木村氏）



▲地域の魅力を発掘するまちづくり（三田氏）

アイデアソンなどの活動が紹介されました。自転車はハード(インフラ)とソフト(人や活動)を繋ぎ、地域に新たな交流と発見をもたらすツールであることが示され、ターゲットを「効率性」から「交流性」へ切り替える、空き空間は「負の遺産」から「市民活動の自由な舞台」へと価値転換の考え方が述べられました。また、コンサルタントとしては、市民のアイデアを設計や仕様に変換する「翻訳者」、地域活動を支援する「伴走者」としての役割が求められると述べられました。

講習会の後半では、「自転車でまちの魅力を発信するイベントの企画」をテーマに、金山・熱田周辺を対象とした意見交換(ワークショップ)を実施しました。

参加者は4班に分かれ、①まち×自転車で生まれる魅力・楽しさ、②企画を実行する上での課題とその解決策、③企画のキャッチフレーズの3つの検討課題について議論しました。自転車は車道を走ることを前提とし、平均時速12km、約2時間で回れる距離を想定してコースを検討。議論の後には、各班の企画を発表し、講師を交えて活発な意見交換が行われました。

<各グループの発表概要>

A班:「あつたみや めぐりんりん」

20代の若者を対象に歴史的価値のある場所を巡るルートを提案。駐輪場所の確保が課題。

B班:「金山・熱田の時を巡る旅～ボタリング×舟～」

40～60代を対象に歴史的な魅力と水辺空間の活用を組み合わせた反時計周りのルートを提案。舟利用の実現性や駐輪場所の確保が課題。

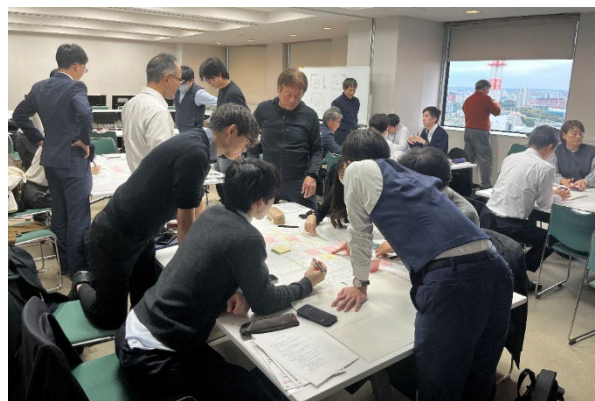
C班:「ホット ドット ゴールデンライン」

ルート投稿から利用、表彰、データ分析・フィードバックまでを1年単位で繰り返し、ゴールデンルートを構築する企画を提案。アプリ運用等が課題。

D班:「2度美味しい金山サイクリング」

金山駅周辺に宿泊している観光客を対象に、歴史スポットと飲食・お土産スポットの両方を巡る欲張りなルートを提案。観光客への広報が課題。

ワークショップでは、歴史、交流、長期運用、観光など、班ごとに異なる視点から企画が提案され、地域の魅力を引き出す多様なアイデアが発表されました。講師からは、企画したイベントの周知方法や運営上の課題に関するご意見をいただき、参加者にとって、魅力的な企画を考える楽しさと、実現に向けた課題を実感する貴重な機会となりました。



▲ワークショップ



▲発表及び講師との意見交換



▲集合写真

今回の講習会・意見交換を通じて、自転車が単なる移動手段にとどまらず、地域資源の発見や交流の促進、観光振興など、まちづくりに多面的な価値をもたらす可能性を改めて認識しました。

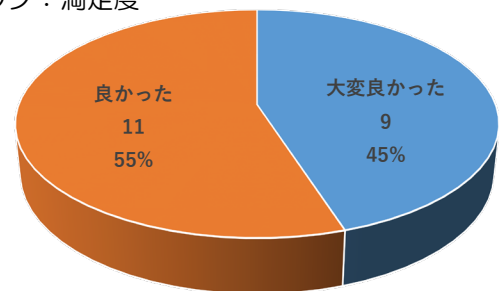
参加者へのアンケートでは、ガイドラインの改定ポイントやイベント等の取組事例を学べたことが良かった点として挙げられました。ワークショップについては、「異なる考え方を学べた」「刺激になった」など肯定的な意見がありました。一方で、「意見交換の時間が短かった」「テーマ設定が限定的であった」といった改善を求める声もありました。こうした課題と、アンケートで皆様から挙げていただいた興味・関心のあるテーマを踏まえ、次回以降の講習会企画に活かしていきたいと考えています。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

### Ⅲ.参加者アンケート結果

グラフ：満足度

#### 1. アンケート概要

- (1) 対象者：視察参加者 23人
- (2) 回収票数：20人（回収率87%）



#### 2. アンケート結果

##### 【問】満足度

- ・「大変良かった」が45%、「良かった」が55%。回答者全員が満足。

##### 【問】満足度の理由

- ・ガイドラインの改定ポイントやイベント等の取組事例は、良かったという意見が多かった。
- ・グループワークは、「異なる考え方を学べた」「刺激になった」など肯定的な意見がある一方、「意見交換の時間が短かった」「テーマ設定が限定的であった」といった意見もあった。

##### 【問】「ガイドライン」の講習で参考になった点

- ・改定の背景や経緯から把握でき、改定理由が明確となり、よく理解できた。
- ・自転車通行帯と路上駐車の関係性について、初めて知ることができた。
- ・海外の交差点が日本とは異なる点についても知ることができた。など

##### 【問】「市民に自転車の魅力を伝える活動」の講習で参考になった点

- ・自転車散歩、ポタリングといった活動を知らなかったので、自転車ユーザーの活動内容について知ることができました。

##### 【問】今後のご自身の業務活かせそうだったこと

- ・自転車を活用した観光を検討する際に、二段階右折を減らすために反時計回りにしたほうが良いという観点は思いつかなかったので、記憶にとどめておきたい。
- ・自転車道を作っていく際に側溝を歩道の中に作るというのは今後の業務に活かせそう。

##### 【問】今後、交通ワーキング講習会で扱って欲しいテーマや内容

- ・SRT、BRT、自動運転、デマンド型交通、ライドシェア
- ・道路再配分、交通ビッグデータの活用、APSソフトの活用
- ・ウォークアブルエリア、歩行者天国、パーソナルモビリティ
- ・細心の事例紹介、現地視察

## ランドスケープWG

### I. 開催日程等

日 時：令和 7 年 10 月 31 日（金）13:30～17:00

場 所：見学：岐阜公園（岐阜城楽市）、金公園【岐阜県岐阜市】

講習：グラスル 35 3F 柳ヶ瀬健康運動施設「ウゴクテ」すこやか交流室

テーマ：岐阜市のセンターゾーンを支える歴史公園と防災公園を学ぶ

講 師：岐阜市歴史まちづくり課：水野課長、鈴木係長

公園整備課：平松係長

名鉄都市開発（株）：湯浅沿線開発 2 グループ長

参加者：27 名（14 社）

### II. 活動概要

立地適正化計画が制度化されて以降、全国の中心市街地においては、より一層、コンパクト・プラス・ネットワークによる安全・快適で持続可能な市街地の形成に向けた取り組みが進められています。ランドスケープ分野においても、都市機能としての公園整備や持続可能な都市公園の運営に向けて Park-PFI 等の官民連携事業の活用などが積極的に進められています。

このようななか、岐阜市においては、昭和 24 年に開設した金公園を令和 5 年に岐阜市のセントラルパークとして「まちとまちをつなぎ、憩い、うるおう空間」をコンセプトに防災機能（指定緊急避難場所）を併せ持つ公園としてリニューアルしました。

また、岐阜公園については、更なる魅力向上と新たな賑わいを創出するため、Park-PFI 制度を活用した「岐阜城楽市」を令和 7 年 4 月にオープンし、観光や市内の周遊及びにぎわいの拠点づくりに取り組んでいます。

本講習会では、このような取組を進めている岐阜市及び名鉄都市開発（株）のご担当者様より、プロジェクトの概要、事業経緯、公園の特徴及び民間事業者としての取組などの貴重なお話を頂きました。

金公園では、まちなかにおける公園整備の工夫やにぎわい創出に向けた運営方法について、学ぶことができました。

金公園からは、最寄りバス停を利用して、約 5 分間隔で運行している路線バスに乗車し、岐阜公園へ移動しました。



【講習会場内の様子】



【金公園での現地説明の様子】

岐阜公園（岐阜城楽市）では、三重塔や岐阜城への眺望を考慮した施設配置や歴史を感じるランドスケープデザイン及び公園設計等について多くの知見や工夫した点を学ぶことができました。



【三重塔と岐阜城を見通す建物計画について解説する市職員】



【小雨の中、現地見学する参加者】



【建物と調和を図るシンボルツリー（道三の榎）】



【集合写真（講習会場内）】

当日は、あいにくの雨模様で、気温も低くなってしまいましたが、現地見学では、熱い気持ちで積極的に講師に質問される様子も伺えました。また、実際に設計に携わった方々から設計時の工夫や苦労した点、施工後の感想を直接聞くこともでき、大変参考になりました。

さらに、講師からクーポン券の提供もあり、飲食物やお土産をたくさん購入されている方もいらっしゃるなど、少しばかりではありますが、岐阜城楽市へのお礼も出来たと思います。

参加者へのアンケートでは、「座学と現地見学のセットが良かった」「説明・説明者が良かった」など、満足度が高い結果となりました。特に「金公園では、公園の柔軟な使い方について」、「岐阜公園では、入口から三重塔、岐阜城への視線を意識したデザインについて」等の細かな考え方で丁寧に説明頂けたことに好感する意見を多数頂きました。今後のWG活動については、新しく供用した施設やリニューアルした施設の見学や設計者の苦労話を聞きたい等のご意見を頂いており、今後の参考にしたいと思います。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

### Ⅲ.参加者アンケート結果

#### 1. アンケート概要

- (1) 対象者 : 視察参加者27人
- (2) 回収票数 : 22人 (回収率81%)

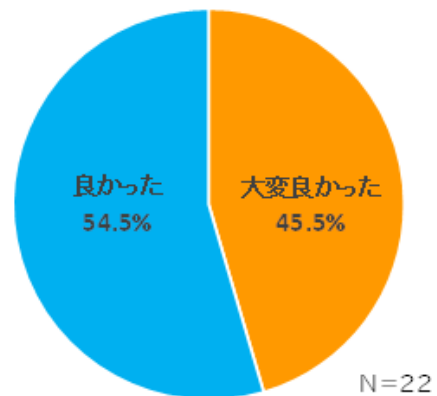
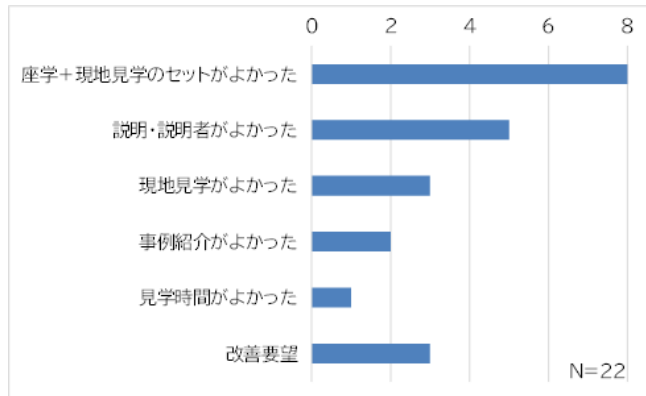
## 2. アンケート結果

### 【問】満足度と理由

○満足度

- ・大変良かった45.5%、良かった54.5%

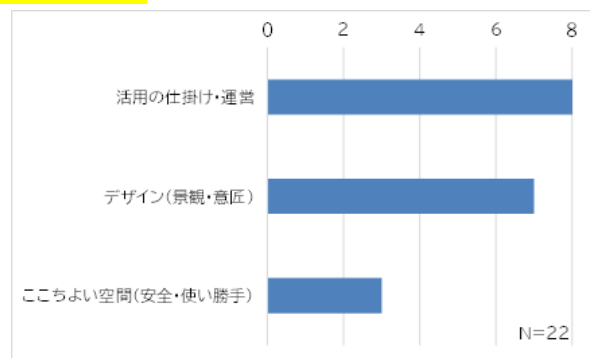
○理由



### 【問】特に利用者目線で魅力的だった点、興味をもった点

<主な意見の概要>

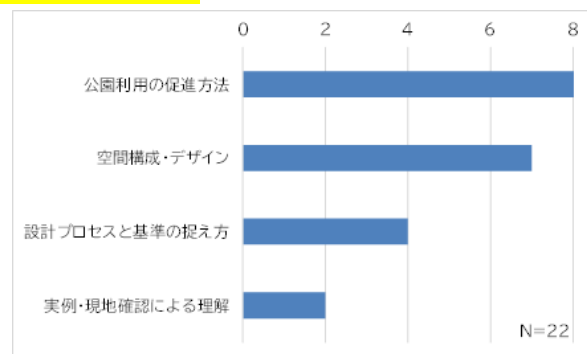
- ・「活用の仕掛け・運営」
- ・「デザイン（景観・意匠）」



### 【問】今回学びたかったことについて、勉強・参考になった点

<主な意見の概要>

- ・「公園利用の促進方法」
- ・「空間構成・デザイン」



### 【問】今後「ランドスケープWG」でどのようなことを学びたいか

- ・今回のような発注者及び民間業者が携わる案件の講習会・現場見学会に関心がある。
- ・グループ会員の中の方が実際に担当された業務について、現地見学会を開催して欲しい。そのうえで、苦労した点、コンサルタントとして特に提案し採用された点を聞きたい。
- ・新たに供用した施設やリニューアルした施設を見てみたい。
- ・EPS 工法等、普段あまり検討しない分野の技術（軟弱地盤対策等）を学びたい。
- ・最新の事例をもとに、コンセプトやデザインの考え方等を学びたい。

## ■参考1：これまでの都市計画検討グループにおける活動内容（会員参加型）

### 【委員会全体の講習会・見学会】

- H24：見学会 近江八幡市一水郷巡り、八幡重要伝統的建造物群保存地区
- H25：講習会「エリアマネジメント～街育ての担い手はだれ？」
- H28：講習会「人口減少が進む都市において中心市街地や郊外住宅団地の再生」  
「持続性を確保するにはどのようなまちづくりを進めるべきか」

### 【都市整備WG】

- H23：全体講習会「事前復興計画のススム…この国の明日を紡ぐ」
- H23：講習会「名古屋港と産業防災」
- H24：見学会「中心市街地の昨日・今日・明日」（東海市、半田市）
- H25：講習会「リニア中央新幹線と名古屋」
- H25：見学会（交通WG合同開催）「公共交通及び歴史を活用したまちづくり視察」（恵那市）
- H26：講習会&見学会「伊勢河崎のまちづくり」「三重県防災拠点」（伊勢市）
- H27：講習会「歴史的視点から見た集約型都市構造とは？」（PART1、2）
- H28：講習会&見学会「縮小期のまちづくり（豊川稲荷表参道・御油のマツ並木）」（豊川市）
- H29：講習会&見学会「錦二丁目まちづくり協議会」（名古屋市中区）
- H30：講習会「公共空間の有効活用と都市のマネジメント・維持管理のあり方」
- R 1：講習会「スポンジ化した地域の面的再生等へ向けた取組事例」（山形県鶴岡市）
- R 2：講習会「スマートシティとこれからの都市計画：with/post コロナの都市像」
- R 3：講習会「活力のある都市をつくる」（岐阜市）
- R 4：講習会「ICT技術を活用したデータ収集とまちづくりへの活用」（名古屋市）
- R 5：講習会&見学会「再開発と商店街での連携による魅力的な都市空間の創出」（豊橋市）
- R 6：講習会&見学会「ネットワーク型コンパクトシティからまちづくりを学ぶ」（宇都宮市）
- R 7：講習会&見学会「広島市都心部におけるまちづくりを学ぶ」（広島市）

### 【交通WG】

- H23：全体見学会「りんご並木が美しい丘の上のまち飯田」のまちづくり（長野県飯田市）
- H24：講習会「自転車利用環境整備を考える」
- H25：見学会（都市整備WGと合同開催）
- H26：見学会「最新の安全対策技術情報及び施工事例について」（阿久比町）
- H27：講習会&見学会「交通環境の取組、東海道日永郷土資料館、あすなろう鉄道」（四日市市）
- H28：講習会「ビックデータの活用・可能性と展望」
- H29：講習会「自動運転が創る未来の都市交通のあり方」
- H30：講習会「道の駅をいかしたまちづくり・地域活性化と今後の展望」
- R 1：講習会「住みやすい都市空間デザインのための空間情報分析」（瀬戸市）
- R 2：講習会「技術者経歴50年の歩みと今後への提言」
- R 3：講習会&見学会「岡崎市QURUWA地区」（岡崎市）
- R 4：講習会「人、そして子供に優しいまちづくり・多様なデータを活用して」（名古屋市）
- R 5：講習会&見学会「最新の自動運転技術や都市交通への導入方法を学ぶ」（岐阜市）
- R 6：講習会&見学会「大垣市交通再編計画（養老鉄道、駅前周辺エリア）を学ぶ」（大垣市）
- R 7：講習会&見学会「自転車で広がる まちの魅力発見」（名古屋市）

### 【ランドスケープWG】

- H23：見学会「土木学会デザイン賞受賞公園の設計コンセプトを学ぶ」（各務原市）
- H24：全体講習会&見学会 滋賀県近江八幡市での講習会・見学会（滋賀県近江八幡市）
- H24：見学会 H22 講習会講師による愛知県半田市の現地見学会（半田市）
- H25：見学会「あいちサトラボで里山づくり活動を学ぼう」（愛・地球博記念公園）
- H26：講習会&見学会「花フェスタ記念公園 指定管理者制度の現状と課題」（可児市）
- H27：講習会&見学会「公園における集客力を高める工夫を学ぶ」（刈谷市）  
講習会「全国都市緑化あいちフェアはどこまで造れたか」
- H28：講習会&見学会「官民連携による公園の集客力を高めた工夫（梅小路公園）」（京都市）
- H29：講習会&見学会「最新事例からランドスケープデザインを学ぶ」  
（草津川跡地公園・ラコリーナ近江八幡）」（滋賀県草津市、近江八幡市）
- H30：講習会&見学会「具体的事例をとおしてランドスケープデザインを学ぶ」  
（太田川駅前どんでん広場）」（東海市）
- R 1：講習会&見学会「具体的事例をとおしてランドスケープデザインを学ぶ」  
（天理駅前広場コブフン、道の駅レスティ唐古・鍵と史跡公園）」（奈良県天理市）
- R 2：講習会&見学会「コロナ禍で、我々が取り組むべきパブリックスペースのあり方について学ぶ（Hisaya-odori Park）」（名古屋市）
- R 3：講習会&見学会「小幡緑地 オバッタベッタ・ヤネル」（名古屋市）
- R 4：講習会&見学会「VISON事業モデル・土木インフラについて」（多気町）
- R 5：講習会&見学会「いなべ市のまちづくりの拠点とヒュッゲ」（いなべ市）
- R 6：講習会&見学会「うめきた公園の取り組み」（大阪市）
- R 7：講習会&見学会「岐阜市のセクターズを支える歴史公園と防災公園を学ぶ」（岐阜市）

## ■参考 2：都市計画検討グループ会員・会社数及び各企画参加人数・会社数

○会員数・会社数一覧表

単位（会員：人、会社：社）

項目	令和6年度		令和7年度		増減 (R7-R6)	
	会員	会社	会員	会社	会員	会社
都市計画検討グループ会員	257	27	288	31	24	4
都市計画検討グループ総会&講習会	62	19	56	17	▲6	▲2
都市整備 WG（講習・見学会）	29	13	29	13	0	0
交通 WG（講習・見学会）	25	13	23	13	▲2	0
ランドスケープ WG（講習・見学会）	30	13	27	14	▲3	1
参加数（のべ）	146	58	135	57	▲11	▲1

※都市計画検討グループ会員の登録および WG 活動へのご参加、ありがとうございました。

昨年度に比べ、会員数は増えましたが、WG 活動の参加者数は若干減少しました。

来年度は盛り返していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします！

## おわりに

会員の皆様のご協力のもと、令和7年度の都市計画検討グループの活動を無事に終えることができ感謝しております。

今年度の WG も、従来から実施している集合形式による現地見学会と講習会を実施しました。昨年度に続き、見学対象地を全国に拡げ、都市整備 WG は、広島市都心部における官民連携のまちづくりを学びました。交通 WG は、自転車を活用して地元名古屋のまちの魅力を発見し、ランドスケープ WG は、岐阜市の2つの公園における再整備と活用事例を学ぶなど、身近な題材を基に新たな取り組みについて学びました。

講習会で深く理解し、現地で利用者の状況やスケール感を体験するなど、有意義な WG になったのではないかと感じています。

来年度も集合形式での活動を基本とし、まちとの出会い、そして人との出会いを大切に、魅力ある活動を行っていきたくと考えています。

皆様の要望を踏まえ、「技術研鑽」、「技術者相互の交流」を目的に活動していきますので、令和8年度も、引き続き、よろしくお願いいたします！

都市計画たより 令和7年度版  
発行日：2026年3月吉日  
発行者：都市計画委員会

~~~~~ あ・と・が・き（委員からの一言） ~~~~~

■河村 和紀（委員長／㈱オオバ／野球・サッカー・テニス・スキー・ゴルフ・ボウリング）



- ・今年、15年ぶりにスキーに行きました！（写真はAIで少し？盛りました。笑）他にもやりたいことが沢山ありますが、仕事とのトレードオフは永遠の悩みですね。
- ・であるならば仕事も楽しく！？ということで、昨年からのWGは中部を飛び出し、宇都宮、大阪うめきた、広島のみちづくりを皆さんと堪能する企画としました。
- ・来年度も皆さんが参加したくなるWGを、委員の皆さんと企画していきますので、是非、ご参加ください。日常業務では得られない刺激が沢山得られますよ！

■藤本 隆史（副委員長／中央コンサルタンツ㈱／映画・野球・自転車・ゴルフ）



- ・今年度は業務技術発表会の担当委員会ということで、密度の濃い一年となりました。当日は多くの方にご参加いただき、ありがとうございました！発表のレベルも非常に高く、大変勉強になりました。そして河村委員長、本当にお疲れ様でした。
- ・WG活動も個性豊かなものとなりました。足を動かし現場を訪れることは、技術者としての強みになります。今回参加できなかった方、ぜひ次回はいらしてください。お会いできることを楽しみにしております！

■浅井 広巳（副委員長／㈱オリエンタルコンサルタンツ／旅行・トレッキング）



- ・副委員長1年目で段取りが分からないことも多く、さらに令和7年度は、業務技術発表会の幹事委員会でもあり、河村さん、藤本さん他、委員の皆様にご指導いただきつつ何とか無事に1年を終えることができました。有難うございました。
- ・WG活動は、技術や知見を広げることながら、同業他社の皆さんと交流できることが非常に楽しく、自身の仕事への向き合い方を考えたり、やる気をチャージしたりする機会になります。会員の皆さんにも是非、参加いただきたいです。

■小林 良治（都市整備WG長／㈱国際開発コンサルタンツ／温泉巡り・夢の国・バスケット）



- ・建コン活動は、会社の垣根を越えた横のつながりができ、情報・技術だけでなく人と人との交流が深まるとても充実した活動です。
- ・今年度は都市整備WG長を拝命しておきながら、「広島市都心部におけるまちづくり」講習会は諸事情により参加できなかったことが、とても、とても残念でした。参加された方は、有意義な時間を過ごすことができたでしょうか？ 参加できなかった方は、来年度も楽しく学べる企画を出しますので、是非参加してくださいね。

■高橋 祐哉（都市整備WG／大日コンサルタント㈱／旅行・音楽）



- ・今年度より都市計画委員として活動に加わりました。右も左も分からない中ではありましたが、皆さまに支えられ、多くの学びと刺激を得る一年となりました。
- ・今回の都市整備WG講習会・見学会では、広島市におけるエリアマネジメントの取り組みなどを通じて、皆さまの熱意を肌で感じることができました。
- ・来年度も引き続き、委員会活動に貢献できるよう努めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

※委員の氏名（所属ワーキンググループ／所属企業／趣味など）

■三島 理絵（都市整備 WG／㈱長大／旅行・写真・グルメ巡り・バス観戦）



- 今年度の都市整備 WG は、広島市都心部の視察ということで、昨年度の宇都宮市に続き、2年連続で遠方の先進地視察を実現できました。紙屋町・八丁堀地区と中央公園のエリアマネジメント、広島駅南口再整備など盛りだくさんの内容で、皆さんにとって有意義な講習会・見学会になったのではないかと考えております。
- 参加いただいた会員の皆さま、ありがとうございました。来年度の企画にもぜひご期待ください。

■角見 篤紀（都市整備 WG／中央コンサルタンツ㈱／旅行、まち歩き、食事）



- 昨年の6月から急きょ建コン委員となりました。不安も多々ありましたが、同業の委員のみなさまとの交流が自身の刺激にもなり、委員を務めることができました。
- 都市整備 WG では、広島市都心部のまちづくりを学ぶとして講習会と見学会を企画し、無事の実現できてとても良かったです。都市整備 WG のみなさまありがとうございました。
- 来年度も会員のみなさまが交流や学べる企画を考えていければと思います。

■寺島 英樹（交通 WG 長／中日本建設コンサルタント㈱／ガジェット収集（最近では電子ペーパー）



- 今年も WG 活動にご参加いただき、誠にありがとうございました。近年、将棋の最適手を AI で評価することが一般化したように、私たちの日常でも AI が最適解を提示する場面が増えています。勝利という明確なゴールがある将棋とは異なり、現実世界の目的や評価軸は多様です。このようななか、AI の判断を適切に活かすためにも、私たち自身が「何をを目指すのか」という明確な意思を持つことの重要性を改めて感じております。来年度も引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

■関 皓介（交通 WG／㈱片平新日本技研／散歩・旅行）



- 今年度もたくさんの方に WG 活動にご参加いただき、ありがとうございました。
- 私自身、都市整備 WG とランドスケープ WG への参加を逃してしまい、大変残念でしたが、交通 WG を通して WG 活動が技術者相互の貴重な交流の場となっていることを改めて実感しました。
- 来年度も「楽しく学びある WG 活動」となるよう、魅力的な企画ができればと考えております。皆様の積極的なご参加を心よりお待ちしております！

■大脇 鉄也（交通 WG／㈱建設技術研究所／旅行、庭いじり、仕事??）



- 今年度から参加させて頂きました。新人ながら我儘申し上げるのを、温かく見守っていただいた皆様に感謝申し上げます。
- 長らく道路屋として、安全円滑な自転車交通の確保に取り組んできましたが、今回は、交通 WG 企画にあたり、自転車がまちづくりにどう生きるのか、何が魅力的なのか、安全管理は？等の宿題を突き付けられ、勉強の年となりました。
- 来年度も、自転車に乗って魅力を伝える企画にチャレンジしたいと思います。

※委員の氏名（所属ワーキンググループ／所属企業／趣味など）

### ■小森 俊文（交通WG／(株)テイコク／サッカー・ゴルフ）



- ・今年度をもちまして都市計画委員を退任することとなりました。在任中は、WG活動や業務技術発表会の運営、三重県建設技術研修での講師など、貴重な経験をさせていただき、大変有意義な4年間を過ごすことができました。
- ・これもひとえに、会員ならびに委員の皆さまのご支援とご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。来年度からは一会員として引き続きWG活動に参加させていただきます。今後ともよろしくお願いたします。4年間ありがとうございました。

### ■望月 知洋（ランドスケープWG長／日本工営都市空間(株)／サウナー）



- ・建コン委員として2年目を終えました。今期はWG長を仰せつかりましたが、なんとか無事に活動を終えることができ、安堵しています。ひとえに委員の皆様や会員の皆様のご協力によるものであり、感謝申し上げます。
- ・来期は、名古屋で第20回アジア競技大会が開催されます。アジアの方々や世界中の方々が愛知県を訪れる機会が増えますので、建コン委員として社会貢献できるような励んでいきたいと思ひます。

### ■都築 美波（ランドスケープWG／日本工営(株)／音楽・散歩・食・スキー）



- ・今年度は、建コン委員2年目でした。個人的に都市整備WG（広島都心部のまちづくり）に参加できなかったのが残念でした。来年も各WGとも楽しみにしています。
- ・今年は初めて建設技術フェアのリクルートブースを担当し、学生の皆さんに建コンの仕事のPRに苦慮した一方、複数の女性技術者と繋がれたことが嬉しかったです。
- ・今年も同業他社の皆さんとの技術交流・懇親を深めるとともに、魅力的なWG活動を企画できればと考えています。

### ■中島 誠（ランドスケープWG／(株)オリエンタルコンサルタンツ／寝る・だらだらする）



- ・今年度から建コン委員となりました。なかなか建コン活動に出席できず、また、視察も岐阜公園しか参加できず、みなさんにご迷惑をおかけしました。
- ・同業他社の方々の様々な経験等をお聞きできるいい機会ととらえています。
- ・名古屋に転勤して早6年になります。コロナ禍でのテレワーク勤務が長く、あまり中部の公園や観光地などを行けていません。この活動を通じていろいろな楽しいところを教えてくださいたいと思ひます。よろしくお願いたします。

### ■千葉 清護（ランドスケープWG／パシフィックコンサルタンツ(株)／まちをブラブラ）



- ・今年度はWG員となり、通常運転に戻ることができました。「金公園、岐阜公園」の見学・講習会では、元コンサルの技術者が直営で実際に設計・施工、維持管理・運営をしている中での、設計時に考えていたことと現場の違いのお話が聴けて、とても勉強になりました。
- ・広島市中央公園の見学では、昭和25年に発表した「広島平和都市建設構想（案）丹下健三氏」のビスタがまさに具現化しつつある場面に立ち会えて感激でした。

※ ■委員の氏名（所属ワーキンググループ／所属企業／趣味など）

————— 告 知 —————

令和8年度の「都市計画委員会検討グループ会員募集」が、  
4月から始まります。

都市計画検討グループは令和8年度も、  
『都市整備 WG』・『交通 WG』・『ランドスケープ WG』  
の3つのワーキング毎に会員を募集します。

皆さんの申し込みをお待ちしています！

(申し込まれたワーキング以外の WG 活動への参加も可能です。)